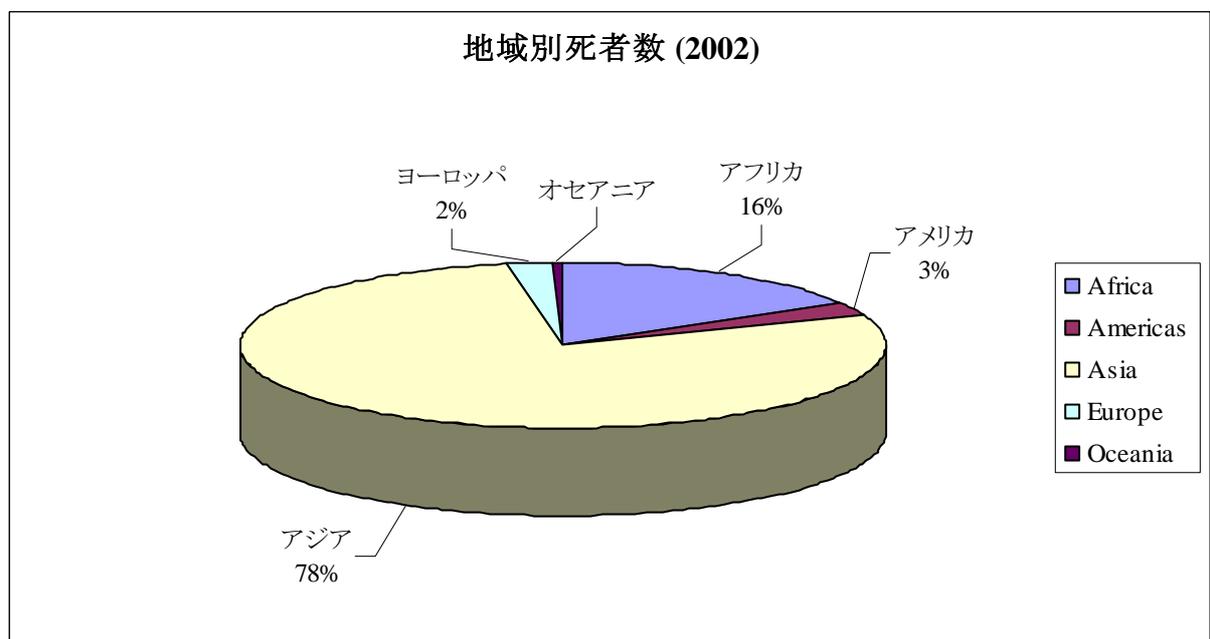


1.2 アジア地域の脆弱性

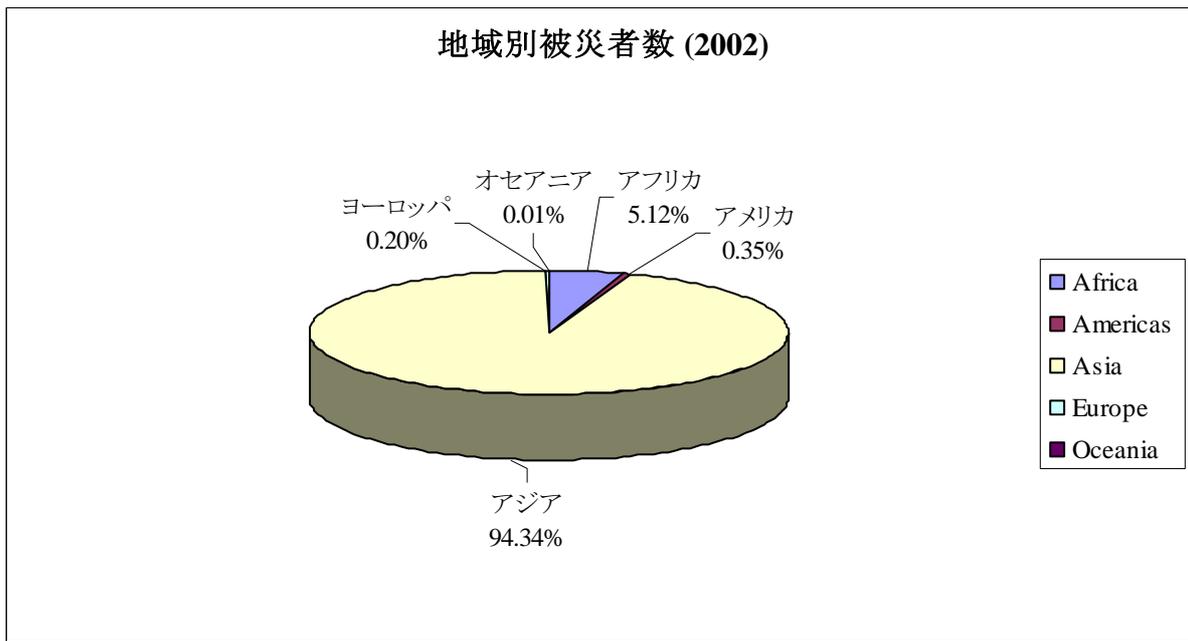
下記の図を見れば、アジア地域は自然災害に対して極めて脆弱であることがわかる。前年と同様に、2002年の人的損失・被害のほとんどは、この地域から報告されている。また、全被災者数の約94%、人的損失の78%はアジア地域で発生したものである。2002年の災害による経済損失を見てみると、そのほとんどはヨーロッパが占め、続いてアジア地域となっている。これは2002年にヨーロッパで発生した深刻な洪水の被害によるものである。

図 3



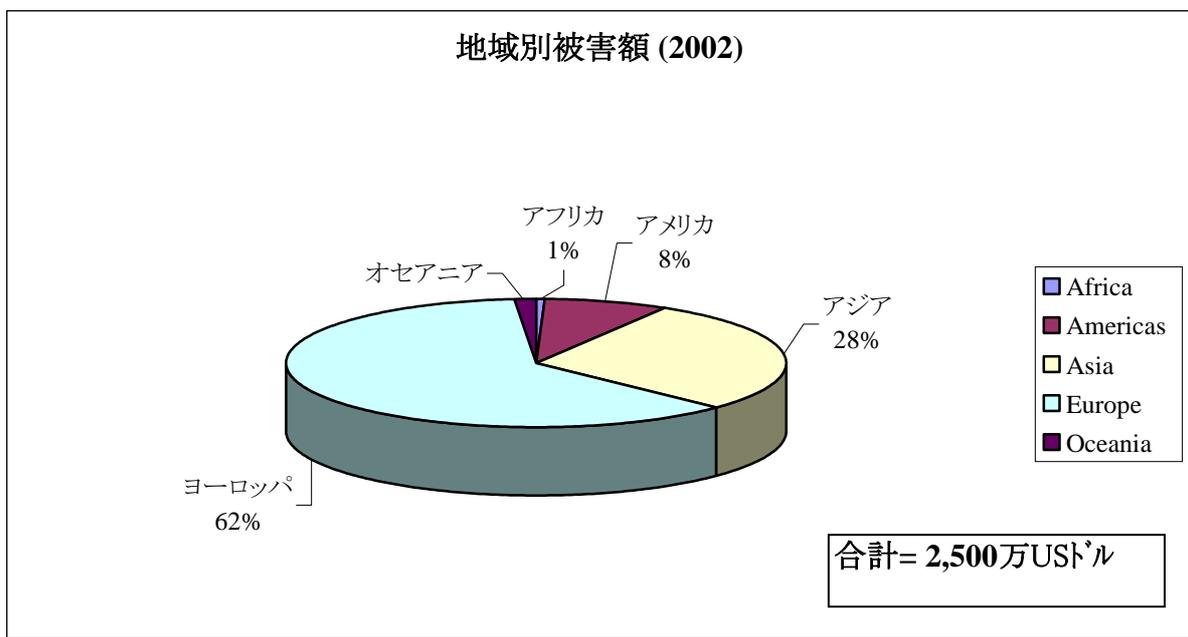
出典：ADRC（アジア防災センター・日本）、CRED-EMDAT（ルーベンカトリック大学・ベルギー）

図 4



出典：ADRC（アジア防災センター・日本）、CRED-EMDAT（ルーベンカトリック大学・ベルギー）

図 5



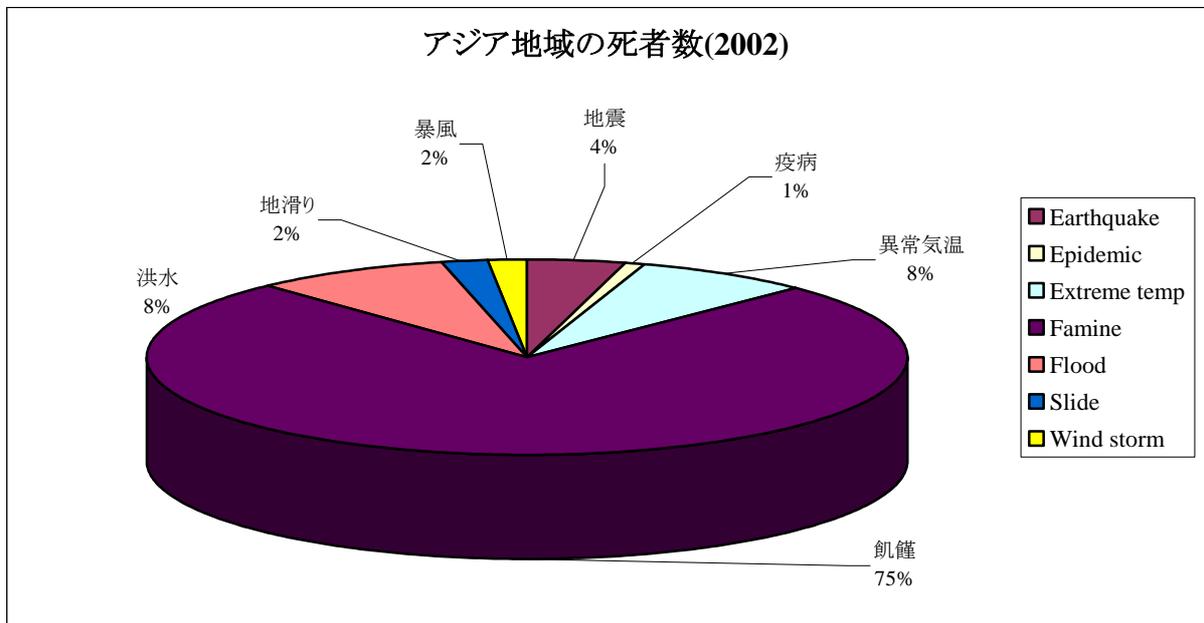
出典：ADRC（アジア防災センター・日本）、CRED-EMDAT（ルーベンカトリック大学・ベルギー）

災害別データと社会や経済に与える影響についてのデータによれば、2002年においてアジア地

域は干ばつや洪水、暴風といった気象災害の影響を受けていることがわかる。しかしその一方で、アジア地域においては飢饉による死者がほとんどで（図6）、これは朝鮮民主主義人民共和国での飢饉（食料不足）によるものであった。さらにこの傾向は、過去の災害分析研究や20世紀自然災害データブックからも明らかで、アジア地域に特有な社会・経済的または文化的側面は、このような多くの被害を生み出す原因となっている。次の章では、災害別にみた地域による災害特徴の違いを分析する。いずれにせよ、この地域での莫大な人的被害が、開発活動を妨げていることは無視できない。

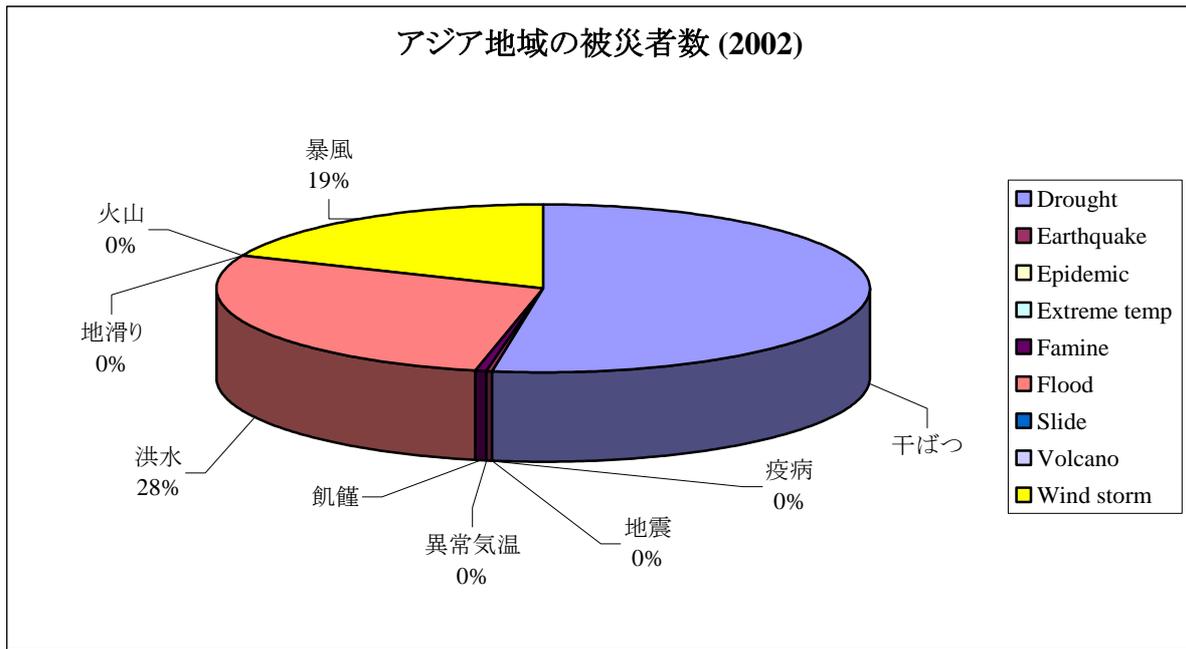
次の図はこの傾向を明確に表したものである。

図6



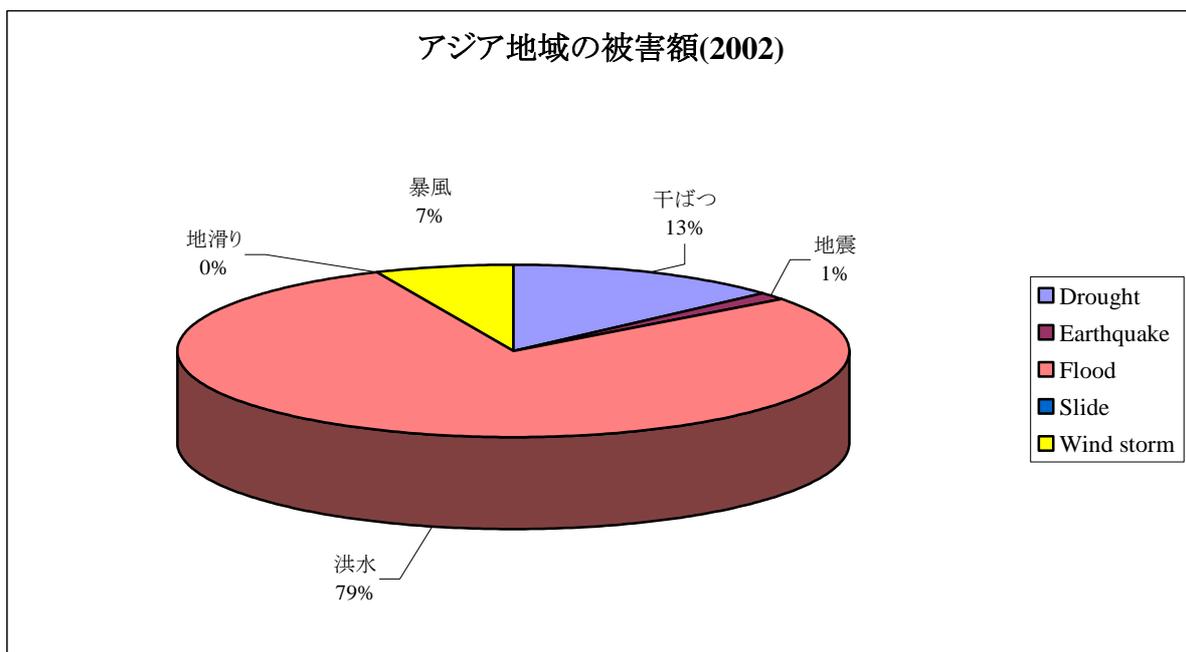
出典：ADRC（アジア防災センター・日本）、CRED-EMDAT（ルーベンカトリック大学・ベルギー）

図7



出典：ADRC（アジア防災センター・日本）、CRED-EMDAT（ルーベンカトリック大学・ベルギー）

図 8



出典：ADRC（アジア防災センター・日本）、CRED-EMDAT（ルーベンカトリック大学・ベルギー）

上記の図は、アジア地域における自然災害やその特徴、またそれらが与える影響についてわか

りやすく示したものである。同様に、災害が経済発展や持続可能な開発への取り組みに与える影響を分析し、効果的な防災管理アプローチを刺激することも重要である。続く章では、人間開発や所得レベルなどを考慮に入れ、この問題を見ていくことにする。